

ビルシステム Building Systems

標準型エレベーター“AXIEZ(アクシーズ)”の仕様拡充

Specification Expansion of Standard Type Elevator "AXIEZ"

東京2020オリンピック・パラリンピックを控えるなか、外国人や高齢者が安心・安全で快適に利用できるように、“おもてなし”をテーマに新たな仕様を拡充した標準型エレベーター“AXIEZ(アクシーズ)”を2017年6月30日に発売した。拡充した主な仕様は、次のとおりである。

(1) 4か国語ガイド

エレベーターかご室内の平時での表示・アナウンスに英語を加え、地震・火災・停電などの非常時には中国語・韓国語も加えて運行情報を分かりやすく伝えることで外国人利用者の安心・安全性を向上させた。

(2) カラーユニバーサルデザイン

エレベーターかご室の“インターホンボタン”“開くボタン”“かご内液晶インジケーター”の色やコントラストを見



直し、高齢者を始め、より多くの人に見やすい表示とした（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の認証を取得済み）。

(3) かご室デザイン

建築デザインのトレンドである素材感、温(ぬく)もりをテーマとして、本物素材の質感に近い木目調、布調シートの採用、アースカラーや低彩度なライトグレイッシュトーンの塗装色を採用して幅広い用途でのコーディネートが可能にした。また、正面壁と両側面壁で素材感を際立たせる異素材を組み合わせて使用する新しいかごデザインを提案した。



かご室正面壁の異素材の組合せ

三菱エレベーターリニューアル“Elemotion+[ZERO]”の適用拡大

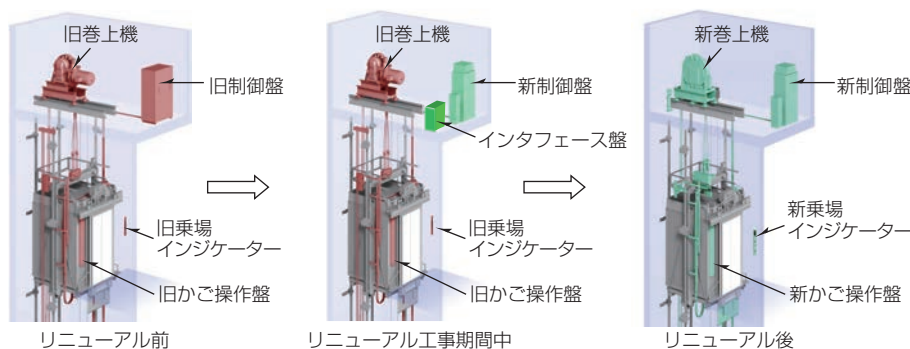
Application Expansion for Mitsubishi Elevator Renewal "Elemotion+[ZERO]"

2016年12月にエレベーターリニューアル工事の連続休止期間を0日とする“Elemotion+[ZERO]”をエレベーター“GRANDEE(1990年以降生産)”を対象として発売したが、更なる拡販のため、エレベーター“エレベッタドバンスV(1984年以降生産)”を対象とした開発を行った。

Elemotion+[ZERO]は、リニューアル工事を複数回に分割して実施していくため、新制御盤(リニューアル後の制御盤)で旧かご機器及び旧乗場機器を制御する技術が必要となる。エレベッタドバンスVは、旧かご機器と旧乗場機器を制御する回路が新制御盤と大きく異なるため、回路電圧を変換する電源回路、かご操作盤、乗場インジケーターなどの旧操作表示器具と旧制御盤間の通信方式を変換するインタフェース基板等の開発を行い、新制御盤とは別に旧機器を制御する機

能に特化したインタフェース盤に実装した。これらの開発によってエレベッタドバンスVのリニューアル工事の連続休止期間の0日化を実現した。

今後、長期間の停止がリニューアル推進の大きな障害となっていた高齢者の多いマンションや病院などにElemotion+[ZERO]を適用し、安心・安全・快適なエレベーターを提供していく。



新旧の機器が混在する工事期間中でも利用できる時間を確保(従来は連続休止期間が必要)

Elemotion+[ZERO]の主な新旧の機器

日比谷パークフロントビル向け2つの出発階に対応した三菱エレベーター行先予報システム“ELE-NAVI”

Mitsubishi Elevator's Destination Oriented Allocation System "ELE-NAVI" Corresponding to Double Departure Floors for Hibiya Parkfront Building

日比谷パークフロントビルは、隣接ビルを通じて霞ヶ関駅と内幸町駅に直結する、利便性が高く日比谷公園が近接する希有(けう)な立地を生かし、“公園の中のオフィス”をコンセプトに2017年5月31日に竣工(しゅんこう)した。

地上21階・地下4階・高さ約109mを誇り、最上階の21階には、開放的な空間に豊かな樹木を配した、約630m²の入居者専用スカイラウンジ・スカイガーデンを設置し、ランチタイムや休憩、ミーティング、1人での集中タイムなど、様々なシーンで利用できる場所として、多様な働き方ができる環境を提供している。

当社は昇降機設備として、高速エレベーター15台、エスカレーター6台を含む昇降機23台を納入した。エレベーターについては地下1階と2階の2つの出発階に対応したセキュリティーゲート連動の三菱エレベーター行先予報システム“ELE-NAVI(エレ・ナビ)”を採用している。

またセキュリティー製品として、三菱統合ビルセキュリティーシステム“MELSAFETY-G”などによってビル利

用者の安全・安心の向上に貢献している。

ELE-NAVIを2つの出発階に対応させることで、セキュリティーゲートとの連動で、建物在館者用と訪問者用の出発階の個別設定や、利用できる出発階の時間帯による切替えなど、ビルオーナーやテナントの運用面での要望への柔軟な対応を可能にし、エレベーターの運行の最適化を実現した。



建物外観



2階に設けられた出発階(セキュリティーゲート)

韓国“Lotte World Tower”向け昇降機設備

Elevators for "Lotte World Tower" in South Korea

2017年4月に竣工した“Lotte World Tower”は、韓国・ソウルに建設された123階建て、高さ555mの超高層複合施設である。商業施設、ホテル、オフィス、レジデンス、展望台からなり、2017年8月時点で韓国で最も高く、世界で5番目の高さを誇る韓国の新たなランドマークとなった。オフィスゾーンに韓国初のダブルデッキエレベーターを15台、高級レジデンスに8台、6つ星ホテルに8台の計31台の当社製エレベーターを納入した。

大規模オフィスでの利用者の快適性・利便性向上のため、オフィス用ダブルデッキエレベーターの主階床となる1階・2階にはセキュリティーゲートを設置し、当社では初めてセキュリティーシステム連動DOAS(Destination Oriented Allocation System)をダブルデッキエレベーターに採用した。また、タッチパネル式乗場操作盤をダブルデッキエレベーターの全階床に設置し、利用者がどの階からでも行先を登録できることで、最適なかご呼びを可能にした。これに加えて車椅子利用者の利便性を考慮し、専用のカードと乗場ボタンを併用することで、車椅子用の号機がサービスされる運転が採用されている。

またこの案件は超高層ビルであり、災害時に避難用階段

での避難が困難であることが想定されるため避難の際にはエレベーターを使用し、あらかじめ決められた退避階に退避した利用者を避難階へ運ぶ避難用運転が採用されている。避難用運転を行う前には、無人エレベーターを遠隔で操作し、かごの上に設置したカメラでシャフト内の状況を確認するライフポート運転を行い、避難時の安全性を確保している。



2階エレベーターホールと乗場操作盤
(奥にセキュリティーゲート)